

京成バラ園芸作出の新品種のバラ
第68回ローマ バラ国際コンクール
金賞受賞
28年ぶりの快挙

京成バラ園芸（本社：東京都墨田区、社長：高梨 茂）は、5月15日にイタリア ローマ市が開催するバラの新品種国際コンクール(Premio Roma per Nuove Varietà di Rose ローマバラ国際コンクール)のハイブリッド ティーローズ(HT)部門において、栄えある金賞を受賞いたしました。

本コンクールは、1933年から続く伝統あるバラの国際コンクールで、世界各国から多数の新品種が出品されます。世界の数あるコンクールの中でも権威ある賞の一つとされています。

審査は、ローマ市立バラ園で約1年半をかけて行われ、バラの専門家をはじめ芸術家やパフューマーなど多方面から選ばれた審査員が、多角的な視点から厳正に評価を行います。

受賞品種はレモン色の明るい花色で、クラシカルなアンティークな咲き方をします。ボリューム感がありながら清楚なイメージを持つ、大輪のバラです。

2000年に交配を行ってから試験を繰り返し、10年の年月を経て晴れて受賞となりました。

新品種のため名前は付いておらず、今後イメージにあう名前を公募し命名する予定です。販売は2011年以降を予定しています。

京成バラ園芸の同コンクール受賞は、1973年「朝雲」の銀賞、1982年「乾杯」の金賞に続き3品種目となります。また、日本からの受賞は、長い歴史の中で当社だけとなります。



受賞品種